

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.4
Q1 室内環境			0.40		-		3.5		
1 音環境		-	0.15	3.0	1.00		3.0		
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.50				
1.2 遮音		-	-	3.0	0.50				
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		-	-	-	-				
2 温熱環境		-	0.35	4.0	1.00		4.0		
2.1 室温制御		-	-	4.0	1.00				
1 室温		-	-	-	-				
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当	-	-	4.0	1.00				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		-	-	-	-				
2.3 空調方式		-	-	-	-				
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00		3.2		
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.0	0.30				
1 昼光率	共用部:2.5%以上	5.0	0.60	3.0	0.50				
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30				
1 昼光制御	住宅部:カーテン、庇にて制御	2.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境		4.0	0.25	3.6	1.00		3.6		
4.1 発生源対策		4.0	1.00	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	建材材料は、JIS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		-	-	3.0	0.38				
1 換気量		-	-	3.0	0.33				
2 自然換気性能	<住戸部分>居室面積の1/6以上の窓を確保	3.0	-	5.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		-	-	1.0	0.33				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
Q2 サービス性能			0.30	-	-		2.9		
1 機能性		2.8	0.40	3.2	1.00		3.1		
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	4.0	0.60				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応	光配線設備がされており、100Mbitクラスのプロードバンドが利用可能	-	-	4.0	1.00				
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準(最低限のレベル)を満たしている	4.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	床面は防汚性の高い建材、床面は適度な水を使用して洗浄可能な設計・構造、風除室の1次扉と2次扉が同時に開かないように距離を確保、維持管理方法が大きく異なる床材は接近させていない、水切りを外壁面へ設置、外部に露出する金属部材のメッキ処理等の特別な防錆対策	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-		3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準「3.劣化等級」における等級3相当	5.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	内装仕上げ材:16年以上~25年未満	4.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水(B)、汚水排水(B)、雑排水(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備	光ケーブルの設置、電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている、災害時にケーブルTVなどにより災害情報が入手できる	4.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	2.6
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	<b>2.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	1.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	3.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている、良好な景観を形成している、既存樹木を保存し、良好な景観を形成している、既存の自然環境等を保存、復元、再生することにより、景観的に地域の歴史性を継承している、といった眺める地点(視点場)からの良好な景観を形成している	<b>5.0</b>	0.40		-	5.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	3.0
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当	<b>4.0</b>	0.20		-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10		-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI=非住宅 0.81 住宅(専用部) -	<b>5.0</b>	0.50		-	5.0
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	3.4
<b>1.1 節水</b>		省水型機器を用いている	<b>4.0</b>	0.40		-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.2</b>	0.60		-	3.2
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10		-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20		-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20		-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		床 断熱材 スタイロフォーム	3.0	0.20		-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10		-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体と仕上げが容易に分別可能、解体・改修・更新の際、容易にそれぞれを取り外すことが可能	5.0	0.20		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20		-	3.7
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	4.0	1.00		-	
3	冷媒		-	-		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2排出率67%	<b>4.3</b>	0.33		-	4.3
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33		-	2.9
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.6</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導入路の位置や形状・数への配慮	4.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33		-	3.1
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストを満たしている項目が一部である、広告物照明等なし	4.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	